

第2回

Shall We Bluegrass?

こびとぐらゝ音楽会

Yamanashi
Bluegrass
Association

- 日時 / 2019年3月17日(日)
午後1時開場・午後1時半開演
- 会場 / 韮崎市民交流センター-NICORI
地階音楽スタジオ2
- 主催 / やまなしブルーグラス愛好会

ご挨拶

本日はご来場、誠にありがとうございます。甲斐、韮崎、北杜3市を中心に山梨県内、近県のみなさん達により2016年9月から開催している音楽愛好会です。ブルーグラスという音楽を介して出会うことが出来た仲間達が、歌や楽器の練習を通して、親睦を深めています。今3年を経てここに音楽会を自主開催することとなりました。既に活動しているブルーグラスバンドを迎えBLUEGRASSなひとときをみなさまと共に過ごしたいと思います。

PROGRAM

【第一部:メンバー&サポート演奏】13:30

- ◎野澤さん(Banjo)
 - ・Will Meet Again Sweet Heart(Gt石井・Md佐野・Bs太田・Fd中山)
 - ・Clinch Mountain Backstep(Gt石井・Md佐野・Bs太田)
- ◎太田さん(Guitar)
 - ・Dark Hollow(Md加藤・Bs佐野)
 - ・I Saw The Light(Bj鶴殿・Md加藤・Bs乙黒・Fd中)
- ◎守屋さん(Guitar)
 - ・Take Me Home Country Roads(Bj鶴殿・Gt石井・Md佐野・Bs太田)
 - ・Little Mountain Church House(Bj鶴殿・Gt石井・Md加藤・Bs太田)
- ◎Happy & Bluegrass(こびとぐらゝバンド) 13:55
 1. Old Fathers Clock
 2. Banks Of The Ohio
 3. Bury Me Beneath The Weeping Willow Tree
 4. Nashville Blues
 5. My Old Kentucky Home
 6. You Are My Sunshine

こびとぐらゝからスピナウトしたバンド。毎月行われているこびとぐらゝの集まりに足繁く通ったメンバーを中心に、こびとぐらゝの集まりから結成されました。このメンバーになって7ヶ月ほど、ベースの加入から2ヶ月のホヤホヤ新生バンドです。

(メンバー)

- Gt.石井喜雄
- Bj.鶴殿 剛
- Bs.太田光紀
- Md.加藤達男



【休憩-10分ほど-】14:15

“こびとぐらゝ”開催中



毎月1回程度開催しています。
フィドル(バイオリン)パート募集中
連絡お待ちしています。

【次回予定】

- 日時: 4/21(日) 13時~
- 場所: 甲斐市双葉公民館
山梨県甲斐市下今井236-2(駐車場有り)
「甲斐市ふれあい文化会館」隣り
- 参加費: 500円(ひとり)
- ✉ yba@popco.jp



こびとぐらゝ

検索

【第二部:ブルーグラス ライブ】

既にバンドとして活動している県内のブルーグラス3バンドによる共演です。県内外イベントでのステージ演奏や、ライブハウスでの演奏さながらをお楽しみください。

■Cat's Whiskers/キャッツウィスカース(14:25)

1. Love And Wealth
2. Little White Church
3. Shenandoah Breakdown
4. Angel Band
5. Big Spike Hammer
6. Sittin' On Top Of The World

バンド名のCat's Whiskers は、「猫のひげ」という意味です。われらのマスコットの存在である満田さんの猫ちゃんに因んで名づけました。

2016年、こびとぐらゝで出逢った3人に満田氏の友人の源太くんが加わってバンドを結成しました。2017年3月にパームスプリングでライブデビュー。その後、箱根、朝霧などのブルーグラスフェスにも参加してブルーグラスを楽しんでいます。

(メンバー)

- Gt.満田健二
- Bj.小口敏夫
- Md.佐野鐘悦
- Bs.菊池源太



■Time Limits30/30分バンド(14:50)

1. Your Love Is Like A Flower
2. Old Home Place
3. Banjo In The Hollow
4. Sweetest Gift
5. There Is A Time
6. Dooley
7. I'll Stay Around

昨年9月、山梨放送「てててTV」生出演の依頼があった際、

ABOUT BLUEGRASS ブルーグラス・ミュージックって?

17~18世紀のアメリカ移民がアメリカン・ルーツ・ミュージックの始まりです。そもそも宗教が移民に深く関係しているので、伝承された音楽も非常にキリスト教と深い関係があるのです。

アメリカに渡った人々が西への開拓の中で行く手を阻んだ北アメリカ大陸東部のアパラチア山脈。深く分け入って道を失い山の中に住みついた人達、越えることは出来たけど疲れ切って住みついてしまった人達。彼らがそれからの生活の中に伝承し続けたスコッチ、アイルッシュ音楽にやがて奴隷として働いていた黒人音楽が融合しブルーグラスの原型となるオールドマウンテンミュージックが形成されてゆきます。さらにラジオの普及により、アパラチア各地にこそってマイクの前に立つこととなったプロミュージシャンにより生活を癒す音楽から聞かす音楽へと精錬されてゆきました。

1945年、月灯りで青く光る牧草をイメージしバンド名にしたビルモンロー率いる「ブルーグラス・ボーイズ」

キャストイングの混乱を期にこびとぐらゝで30分間のステージに対応できるバンドを招集出来るようにしておこうという危機管理により、そこそこブルーグラス歴のあるメンバー集めたらこうなったというユニット。ユニット名もそこから。一週間前にオンエアされたFM甲府の生放送でも演奏し「生放送」にも対応か?

(メンバー)

- Gt.中山博友
- Md.乙黒英二
- Bs.佐野鐘悦
- Bj.加藤達男



Fiddle



■ハケ岳マウンテン・ボーイズ(15:15)

ブルーグラス音楽に初めて接する方にも魅力が伝わるよう、スピーディーな曲、メロディラインの美しい曲をレパートリーの中心に添え、ワンマイクのパフォーマンスにこだわって演奏活動を続けています。本日は、バンドにとっては一年ぶりのステージであり、新メンバー福沢武雄(bj)の初お披露目の日でもあります。演出効果上、曲目は伏せさせていただきますが、フレッシュ&インパクトある演奏をお届けします。最後までお楽しみ下さい。

(メンバー)

- Gt.吉田コーセイ
- Md.岩下寛
- Bs.成澤康
- Bj.福沢武雄



5 String Banjo

【フィナーレ・JAM】15:45

- ・Rollin' My Sweet Babys Arms(A)
- ・Foggy Mountain Breakdown(G)

【終演】16:00

※動画の撮影はご遠慮願います。
※会場内は飲食、喫煙は不可となっております。

にそのビートの利いたリズムと演奏形態で人気が集まりました。多くのラジオにとりあげられ、紹介されるほど響くブルーグラスがいつしかそのままブルーグラス・ミュージックの名の由来となったのです。

5弦バンジョー、マンドリン、ギター、フィドル、ベースによる「ストリングス・バンド」というのが代表的なブルーグラス・ミュージックの演奏形態です。ブルーグラスボーイズのバンジョー奏者であったアール・スクラッグスによるスリーフィンガースタイルはビルモンローのマンドリンプレイスタイルと共にブルーグラスの音楽的特徴付に大きく貢献しました。

歌詞は、ヨーロッパ時代から民衆の生活に密着した内容が歌われており、恋が突ったり、楽しく過ごした思い出などの明るい歌は皆無で、ストイックに神を仰ぐもの、犯罪を題材にしたもの、失恋の歌、情けない男の生きざまなど人生そのものが歌われています。そんなネガティブな詞を明るく強烈なビートや美しいコーラスに載せ演奏するのもブルーグラスの特徴です。



ブルーグラスってどんな歌なのかというと

■ We'll Meet Again Sweetheart

The time has come to say goodbye
I'm asking you to please don't cry
The time to me won't be so long
To know you're happy back at home

- 繰り返し -

Someday we'll meet again sweetheart
We'll meet and never more to part
Someday we'll meet again sweetheart
Don't cry, so please don't break my heart

So goodbye now, don't be blue
Try to be happy and be true
And remember what I say
Sweetheart we'll meet again someday

Oh sweetheart I'm leaving now
Yes I'll soon be on my way
Each night upon my knees I pray
Sweetheart we'll meet again someday

【訳】恋人よまた会おう。

さあ、さよならを言う時間だ。泣かないで欲しい
そんなに長い間じゃないと思うけど、
故郷での君の幸せな様子、知らせてくれよな。

- 繰り返し -

君といつか再開できたら・・・
その時はもう別れたりほしくない
君といつか再開できたら・・・
だから泣かないでくれ、僕の心を痛めるほどに

今はさよならだ
ふさぎ込まずに気持ちだけは幸せで居て
そしてまた会おうという僕の言葉を思い出してくれ。

ああ、もう行かなきゃ、僕は自分の任務を頑張ってくる。
そして毎晩跪いて祈ることにするさ、いつか必ず会えることをね。

■ Old Home Place

It's been ten long years since I left my home
In the hollow where I was born
Where the cool fall nights
make the wood smoke rise
And the fox hunter blows his horn

I fell in love with a girl from the town
I thought that she would be true
I went away to Charlottesville
And worked in a sawmill crew

- 繰り返し -

What have they done to the old home place?
Why did they tear it down?
And why did I leave my plow in the field
And look for a job in the town?

Well the girl ran off with somebody else
The taverns took all my pay
And here I stand where the old home stood
Before they took it away

Now the geese they fly south and the cold wind
blows
As I stand here and hang my head
I've lost my love and I've lost my home
And now I wish that I was dead

【訳】古き我が家の跡

俺が家を出、10年という長い月日が過ぎた。
俺が生まれたのは山間の小さな盆地。
そこは寒くなれば夜のとばりに家々から煙が立ち上り、
キツネ狩りの馬達のいななきがひびきわたるところさ。

俺は、町から来た娘に恋をした。
彼女も俺を好きでいてくると思っていた。
だから俺はシャロスティブルの彼女の元に行き
暮らすために、製材場の作業員として働いていたんだ・・・

- 繰り返し -

生まれ育った故郷になんてことをしてしまったのか？
なんで、何もかもをだめにしてしまったのか？
その上、なぜ俺は使い慣れた鋤(すき)を畑に残したのか。
町で仕事を見つけるためだった、
都会での生活を求めたかったのさ。

結局その娘は別の男と駆け落ちをしたよ。
稼いだ金は全て飲み屋につき込んだ。しまった。
そして今、俺はなつかしい我が家があった場所に立っ
ている。
あの頃を想い浮かべながら・・・

渡り鳥が南に向かい始める今、風は冷たさを激しく増す、
まるで首をつりたい思いで立ち尽くす俺の寂しい心
の中のようなさ。
俺はすべてを・・・愛も故郷の家族も失ってしまった。
そう・・・今俺は死ぬより辛い思いでいっぱいなんだ。

■ My Old Kentucky Home

The sun shines bright on my old Kentucky home
'Tis summer, the people are gay
The corn top's ripe and the meadow's in bloom
While the birds make music all the day

The young folks roll on the little cabin floor
All merry, all happy and bright
By 'n by hard times come a-knocking at the door
Then my old Kentucky home, good night.

- 繰り返し -

Weep no more my lady,
oh weep no more today.
We will sing one song for the old Kentucky home,
for the old Kentucky home far away.

They hunt no more for the 'possum and the coon,
On meadow, the hill and the shore,
They sing no more by the glimmer of the moon,
On the bench by that old cabin door.

The day goes by like a shadow o'er the heart,
With sorrow where all was delight.
The time has come when the ones have to part,
Then my old Kentucky home, good night.

【訳】ケンタッキーの我が家

太陽が明るく輝く、懐かしきケンタッキーの我が家。
今年の夏も人々は楽しそうにしていた。
とうもろこしの房は熟し、牧場も茂っていた。
鳥たちは一日音楽を奏でるように鳴いていた。

子供たちは小さな小屋を駆け回り、
みんな陽気で幸せそうに明るかった。
でもやがて来る辛い時間がドアを叩いている。
だからお別れさ、懐かしきケンタッキーの我が家。

- 繰り返し -

いとしい人よ、もう泣かないで。
今日はもう泣かないでおくれ。
一曲歌ってあげよう、
懐かしきケンタッキーの我が家に向けて。
はるかかなたとなるケンタッキーの我が家に向けて

彼らはもう狩りはしない、タヌキやアライグマを
牧場で、丘で、湖の畔で。
彼らはもう歌わない、月のかすかな光の元で、
あの古い小屋の戸のそばのベンチで。

楽しかったその日が終わるとき、
悲しみが影のように心をおおふ。
彼らに別れが来た時だ。
だからお別れさ、懐かしきケンタッキーの我が家。

■ Little Mountain Church House

There's a little mountain church
in my thoughts of yesterday
Where friends and family gathered for the Lord
There and old fashioned preacher
taught the straight and narrow way
For what few coins the congregation could afford

Dressed in all out Sunday best
we sat on pews of solid oak
And I remember how our voices filled the air
How mama sounded like an angel
on those high soprano notes
And when the roll is called up yonder I'll be there.

- 繰り返し -

Looking back now that little mountain church house
Has become my life's corner stone
It was there in that little mountain church house
I first heard the word I've based my life upon.

At the all day Sunday singing
and dinner on the ground
Many were the souls that were revived
While my brothers and my sisters
who've gone on to glory land
Slept in piece in the maple grove nearby

【訳】我が家は丘の上の小さな教会

昨日私は友達や家族が主の元に集う、
小さな山の教会が頭に浮かんだ
そこでは古ぼけた僧衣に身を包む頑なな説教師が
真実や正義について教え
そして会衆からは少しの費銭が集まるそんな様子だった。

日曜はいつも一張羅を着飾って
あの固い檜の木の信者椅子に座る私たち
そして思い出す程に、我々の歌声が
なんと辺りを満たしたことが
ママの声なんて天使のハイソプラノのようだった
するとどこからか呼ぶ声が、誘われそこへ行くと

- 繰り返し -

そんな小さな山の教会。
振り返って見ればそれは私の人生の礎石だった。
その小さな山の教会に入れば
私が人生の目的を達したと伝えてくれるのさ。

日曜日、終日歌って、夕食を会する下界には
天国からも多くの復活した魂たちが参加してくる。
でも、私の他界した兄弟姉妹は
傍らのカエデの木立の枝の上で安らかに眠っているのさ。